

カシキ支那持因の情勢を無視しある如き専制的合同方針を
シヤムニ押しつけんとする行動は大衆政党的行為にあらざるもの
認め併し乍ら吾々も亦無産政党的合同に依る階級的威力の増大を
要望するものであり、爾後なき大衆の意志の綜合によつてこそ完成
を期するものである。

ニ党本部は今後とも充分此れに對し善所をされば再び過去の苦難な
る経験と繰返す事は明らかで望みである故に、
吾等は斷乎呼ばる態度を持つて党本部の反省を期する。
右決議す。

日本労組合総聯合

関東地方聯合会

昭和五年度大会

美行赤友員

佐藤曹太郎

服部末吉

福田道之助

新井兵太郎

日本大衆黨本部

ワヤ

7. 連絡委員会より意見書

今回の党合同問題に關し我が党合同特別委員諸君の熱誠なる努力は
我等の深く感謝する所である。

然る今回同委員等に於て為されたる全民政党及無産政党的合同統一協
議会に對する合同提唱に就いては我等は次の諸点に關し尙慎重なる
考慮を要するものありと考へる。

一、全民政党的合同は党員大衆の二つに於て接近する起てあるが統一協
会との無條件合同に就いては地方的にも後身の障害を遺す懼
あり。

二、統一協議会に對する合同提唱は党内機關の手續上の於ても是義
がある。右の理由に依り本委員会に合同委員諸君が其の純正真
なる愛党の精神に依り更に慎重なる考慮を拂はれん事を希
望する。此れに合同問題の如き重要問題に對しては党員支持団
体の立場の善悪を大なるものあり故に今後我が連絡委員
会に於て是等の限り事前に意見を徴せられん事を併せて希望